

現在、18カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡定時制高校の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制高校の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。市岡国際教育協会は、田龍会(市岡高校定時制同窓会)に母校の廃校後も、引き続き支援して頂いております。

Ichioka 会報

2004/10
第27号

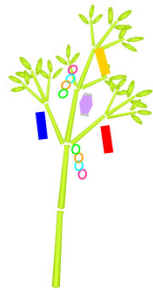
発行人/市岡国際教育協会理事長 八木正一/編集/広報係
大阪府港区市岡元町2-12-12 TEL:06-6582-0348

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校内
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
入会金 1,000円
年会費 1,000円
- 学習者は無料



七夕祭りの感想



7月2日、市岡日本語教室で、少し早めの七夕をしました。ボランティアさん、学習者さん、みんな一緒に笹の飾り付けをしました。短冊にお願いを書いたり、折り紙で飾りを作ったりと、楽しい時間をすごしました。

楽しみ方はみんないろいろで、短冊に書くお願いを一生懸命考えている人、はさみやのりを使って、

きれいな七夕飾りを作っている人、折り紙に夢中の人・・・など、班を越え、おしゃべりしながら、いつもとは違った交流の時間でした。

最後には、ハワイへ帰国される学習者・ケリーさんによる、フラダンスの披露!今まで夢中だった七夕飾りの手が止まり、教室中、みんなが見とれてしまいました。すてきな七夕のプレゼントでした!

そして、もちろん七夕の歌も歌いました。来年の七夕も晴れるといいですね!みなさんの願いが叶いますように・・・。

5班 真鍋 彩

天保山祭りに参加して

平成16年9月12日(日)、私にとっては第3回の天保山祭り。その前日から、私は、明日、何を食べて何を飲んで祭りを楽しもうかと考え、翌朝が来るのを楽しみにして眠りにつきました。

2年前、何をしていたか分からないまま天保山祭りに参加した時は、周りのボランティアの人に言われるまま店を手伝っただけで楽しむ余裕はありませんでした。

でも、今年は3年目を迎え、少しは余裕があったように思います。当日は少し曇った湿気の多い暑い朝でした。

午前10時前に会場の天保山に着きました。まだ通行する人はまばらで、祭りののに少し淋しい気がしました。でも市岡日本語教室のボランティアの人たちはすでに

準備を始めておりました。

今年はいつもと違い日本語教室独自で店を開き、民族衣装の着せ替えイベントもするという事で、準備をしていた女性陣はとても忙しくしており、私も邪魔になると思いながら不慣れな手つきでジャガイモの皮を剥いて手伝いました。

午前10時をまわると通行する人が増え、天保山祭りは賑わいを見せ、ステージも活気を見せ、いよいよ天保山祭りが始まったと体感しました。

午後0時頃から日本語教室ボランティアが作ったコロケが飛ぶように売れていき、一時は行列が出来て、作るほうは休む間もなくコロケを揚げたり、ジャガイモを剥いたりしてお客さんの注文を捌いていました。同じ時期に民族衣装を着替える方も忙しく、民族衣装を着たお客さんが店前で笑いながら写真を撮ったりして、とても微笑ましい光景を見せてもらいました。

私は、コロケ売り場の裏に設置した「ミニ外国語教室」の聴講をしていました。日本語教室の学習者がつとめる外国語教室の先生は、皆一生懸命私たちに教えてくれました。おかげさまで、少し賢くなった気がしました。でも、ステージの音が大きく、時折、先生の声が聞こえなくなるのが残念でした。夕刻を迎え、コロケも売り切れる状態となり、バナナのフライ揚げが少しだけ残るくらいになりました。ここまで、ほとんどボランティアの女性陣は休憩も取らず働いており、その様子が頭が下がる思いになりました。

午後6時頃には夕陽が沈み、通行する人も少なくなり、天保山祭りは終わりを迎えようとしていました。皆で片付けをした後、疲れはありましたが、やり終えたような

安堵感が気持ち良さになっていま



した。

今年、新しいイベントを市岡でやらないといけないということで、その準備をしたイベントボランティアの人たちはさぞ忙しい思いをしたと思います。ご苦労様でした。

8班 小濱 光市

私と

市岡日本語教室

私が市岡の日本語ボランティアと出会ったのは、3年前のことです。

私はお茶を習っています。お茶の世界では季節をととても大事にし、全てが生活と密着しています。その中で日本の伝統と文化が大変素晴らしいということを学びました。そして日本のよさを外国の人達に

知ってもらいたいと思うようになりましたが、どう伝えてよいかわかりませんでした。そんな時、新聞でこのボランティアのことを知り、早速応募したのです。最初は日頃使っている日本語であっても、実際に聞かれると説明するのが難しく(今でもですが)市岡で知り合った日本人の友達と、いつまで続くかわからないのでJRの回数券を買えないねと話したものです。

今では笑い話ですが、お蔭で学習者の皆さん、ボランティアの皆さんにも恵まれ、気が付いたら3年目になっていました。そして、日本人、外国人問わず、たくさんの友達が出来、こういう機会を与えて下さった市岡に感謝しています。また、毎週金曜日が楽しみになっています。そんな中、学習者の皆さんに刺激され、私は台湾に留学することになりました。市岡で知り合った台湾の人達と台湾で会う約束をしています。また台湾の友人達も私がいくことで日本語が使えると喜んでくれています。

帰国したら、また市岡に来ます。その時はよろしくお願いします。

稗田 美保